

試合番号 : 227		試合会場 : ユメックスアリーナ (塩尻市総合体育館)				観客数 : 0	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:18		試合時間 : 01:18		主審 : 服部 篤史	
副審 : 慈眼 雅啓		VC長野トライデンツ		堺ブレイザーズ		通算 18勝 8敗 ポイント : 55	
通算 1勝 25敗 ポイント : 4		20 第1セット 25		20 第2セット 25		3	
このコロナ禍の中、大会の開催にご協力いただいている全ての皆様に厚く御礼申し上げます。昨日出た課題を修正し本日の試合に臨みました。課題が修正されセットの中でリードを奪う場面も多く見られましたが、詰めが甘くセットを奪うまでにはいきませんでした。今週の課題を克服し、来週以降の試合に臨みます。本日は応援ありがとうございます。来週も応援よろしくお願いします。		0		19 第3セット 25		監督コメント	
監督コメント		第4セット		第5セット		今日もしっかりとストレートで2連勝することができて良かったです。一戦一戦負けられない戦いが続きますが、一戦必勝で戦っていきます。リモートで応援いただいたサポーターの皆様にも感謝します。来週は堺市立大浜体育館でのホームゲームとなります。引き続き応援よろしくお願いします。	
要約レポート		昨日に続き、VC長野トライデンツが塩尻市に堺ブレイザーズを迎える対戦。第1セット、堺は狙いずまずサーブで相手も崩れて、樋口のブロックやスパイクでリードを奪い、出田のスパイクも決まりリードを広げる。VC長野はセッターを長田に代えて挽回を図るも、点差を縮めることはできず、堺がセットを先取した。第2セット、VC長野はスタートからセッターに長田を起用し、序盤は一進一退の攻防が続く。中盤から堺は迫田にボールを集め得点を重ねる。VC長野も様々な攻撃で対抗するが、最後は迫田がアタックを決め、堺がセットを連取した。第3セットも序盤は一進一退の攻防が続くが、堺は迫田のスパイク、竹元のブロックなどで徐々に点差を広げる。VC長野は中村のスパイクやブロック、三輪のクイックなどで対抗するも、堺は迫田がブロックを決めてセットを奪い、セットカウント3-0で勝利した。					

試合番号 : 228		試合会場 : 三島市民体育館				観客数 : 350	
開始時間 : 12:00		終了時間 : 13:19		試合時間 : 01:19		主審 : 正岡 卓	
副審 : 新田 浩幸		東レアローズ		大分三好ヴァイセアドラー		通算 5勝 21敗 ポイント : 13	
通算 18勝 8敗 ポイント : 55		25 第1セット 21		25 第2セット 22		0	
2日間、ホームゲームの運営に携わっていただいた皆さん、コロナ禍の中、本当にありがとうございました。感謝申し上げます。途中苦しい場面もありましたが、途中出場の小澤が良く働いてくれたと思います。また、我々のチームの武器であるサーブが良く機能したことも勝因になったと思います。来週も継続できるように準備してまいります。2日間、たくさんの応援ありがとうございました。		3		25 第3セット 12		監督コメント	
監督コメント		第4セット		第5セット		コロナ禍の中、応援ありがとうございました。また、関係者の皆様にもとても感謝しています。第1セットは自分達のサーブミスや簡単なミスでセットを落としてしまいました。第2セットは自分達でリードした展開の中、サーブレシーブの直接失点で流れを持っていくことができませんでした。第3セットは相手のサーブとブロックに押される展開となりました。もう一度自分達のやるべき事をしっかりと理解して、次の試合に向けて準備してまいります。今後とも、大分三好ヴァイセアドラーの応援よろしくお願いします。	
要約レポート		昨日に引き続きの対戦となった、東レアローズと大分三好ヴァイセアドラーの試合。両チームのアウトサイドヒッターによる打ち合いの試合となった。第1セット、東は序盤からサーブが冴え、富田のサービスエースなどで得点を重ねる。対する大分三好はバグナスとエメルソンがサイドアウトを重ねる。終盤になると、東が鈴木、パダルのサービスエースで勢いに乗り、最後は李のアタックでセットを奪った。第2セット、大分三好は藤原とバグナスが粘り強くプレーし、アタックも決まり一歩抜け出す。その後は一進一退の攻防が続いたが、21-21から東が富田が連続サービスエースを決めて勢いを作り、最後は富田の好レシーブから小澤が決めて東がセットを連取した。第3セット、東は鈴木、パダルの連続ブロックと富田の3連続得点でチームに勢いをつける。大分三好は古賀、山田を投入して流れを変えにかかると、東は獅子奮迅のごとく、富田の気迫に西本、小澤、パダルが応えて勢いは止まらない。最後は小澤のアタックが決まり、セットカウント3-0で東が勝利した。					

試合番号 : 230		試合会場 : パナソニックアリーナ				観客数 : 1,219	
開始時間 : 14:00		終了時間 : 16:02		試合時間 : 02:02		主審 : 西中野 健	
副審 : 浅井 唯由		パナソニックパンサーズ		JTサンダース広島		通算 10勝 16敗 ポイント : 33	
通算 17勝 7敗 ポイント : 52		25 第1セット 20		20 第2セット 25		1	
タフな試合でした。エドガー選手の調子が良く、JT広島は昨日よりいいプレーをしていました。ブロックと切り返して苦労しましたが、サーブは良かったと思います。戦術面でもサーブに変化を与えたり、選手を変えながら戦いました。その中でもエバデダン選手は素晴らしいです。チーム一丸となり全員で取りにいった勝利だと思います。本日も応援ありがとうございました。		3		28 第3セット 26		監督コメント	
監督コメント		25 第4セット 18		第5セット		昨日の敗戦から、選手は一番足りないと思われる闘争心を出して戦ってくれたと思います。勝負所でのメンタル面での強さを持つために、練習の時から取り組んでいき、来週の試合に臨みたいと思います。今日もたくさんのご声援ありがとうございました。	
要約レポート		パナソニックパンサーズがJTサンダース広島を迎えるホームゲームは、深津の230試合出場を祝う勝利となった。第1セット序盤、一進一退の攻防で両チーム得点を重ねる。パナソニックは深津のサーブでJTの守りを崩すラシーを優位に進め、5連続得点をあげ一気にリードを広げる。JT広島は山本のアタックで追い上げを見せるも、最後はクビアクのアタックでパナソニックがセットを取る。第2セット、JT広島はチャレンジを成功させ勝利への執念を見せると、エドガー、坂下のアタック、小野寺のブロックで得点を重ねる。JT広島は徐々にリードを広げると、そのままの勢いでセットを奪い返す。第3セットはデュースにもつれ込む白熱した展開となるが、パナソニックは山内、大塚のアタックで振り切り、セットを取り返す。第4セット、パナソニックは大竹、エバデダンの速攻で得点すると、JT広島はエドガーにトスを集め粘りを見せる。その後、パナソニックはクビアクのアタックで勢いに乗り、そのままの勢いでこのセットも取り勝利を収めた。					

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット		通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット		監督コメント	
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							